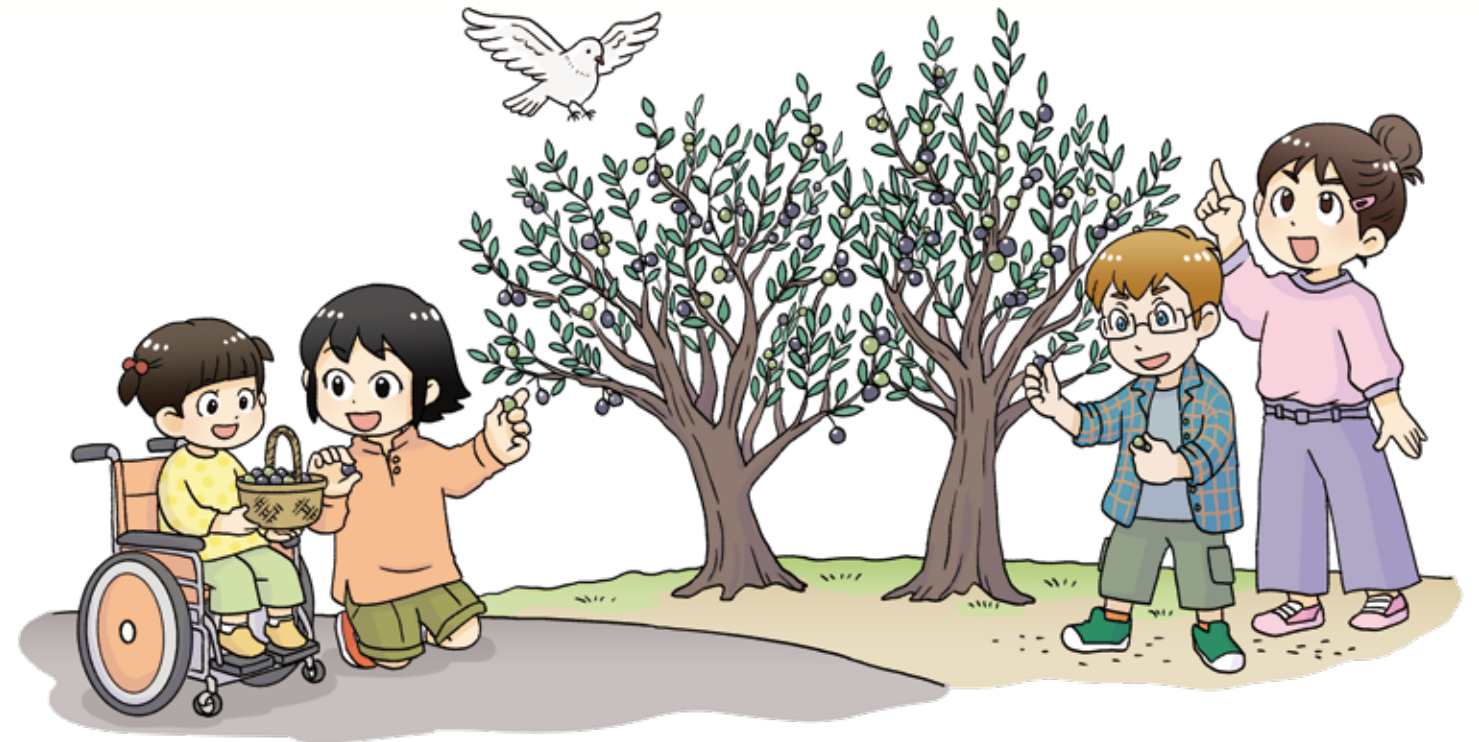


未来への 種まき

SDGsから気づき・考え・実行する



青少年赤十字SDGs教材(小学生版) 未来への種まき SDGsから気づき・考え・実行する

日本赤十字社

はじめに

現代の世界には、紛争や自然災害、気候変動、感染症、貧困など、私たちの暮らしに深く関わるさまざまな課題があります。こうした課題をみんなで協力して解決し、「だれ一人取り残さない」世界をつくるため、国際連合（国連）は2015年に、17の目標からなる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）を採択しました。

しかし、2025年の国連の報告では、SDGsの期限である2030年が近づく中、目標達成に向けた進捗は十分ではないとされています。また、2030年以降の新たな国際目標についても、すでに議論が始まっています。こうした状況の中で、「だれ一人取り残さない」世界を実現するためには、2030年のその先も見すえて行動することが大切です。

赤十字のはじまりは、戦場でけがをした人を「敵や味方の区別なく助けたい」と願ったアンリー・デュナンの行動でした。赤十字はこれまで、人種や国籍、性別などに関係なく、人びとのいのちと健康、そして尊厳を守るために活動してきました。その中で、1922年に始まった青少年赤十字は、子どもたちが思いやりの心を育み、平和や福祉に貢献できるようになることを目指して活動しています。青少年赤十字が大切にしている「思いやり」の気持ちは、SDGsが目指す「だれ一人取り残さない」世界ともつながっています。

課題に気づき、どうすればよいかを考え、行動にうつすこと。そして、まわりの人と協力し、助け合うこと。これらは、よりよい未来をつくるための大切な力です。

この教材は、未来を生きていく皆さんが身近な課題に気づき、友だちや家族、地域の人と協力しながら、解決に向けて行動できるようになることを目指して作りました。学校の授業や地域での探究学習の中でこの教材を活用し、「だれ一人取り残さない」世界を意識しながら、互いを思いやり、いのちと健康、そして尊厳を守る行動ができるようになることを願っています。

日本赤十字社公式キャラクター
ハートラちゃん



プロローグ

自分となかよし みんなとなかよし 地球となかよし SDGs

4～6年（1～3年）

■ 教材	2
■ 指導案	5
■ ワークシート	7

1

海洋プラスチックごみ問題解決のために プラスチックごみを減らそう

5年



■ 教材	8
■ 補足資料	10
■ 指導案	12
■ ワークシート	14

2

みんなが学校で快適に過ごせるように 校内ピクトグラムを考えよう

4年

1～2年



■ 教材	16
■ 補足資料	18
■ 指導案 4年	21
■ ワークシート 4年用	23
■ 指導案 1～2年	26
■ ワークシート 1～2年用	27

3

みんなが楽しく参加できるように スポーツを考えてみよう

6年

1～3年



■ 教材	2時限用	28	■ ワークシート	6年2時限、3時限共通	38
	3時限用	30		6年2時限用	40
■ 補足資料		32		6年3時限用	41
■ 指導案	6年2時限用	34		1～3年用	42
	6年3時限用	36			
	1～3年	37			

4

ひとくふうでむだにしないように 食べずに捨てられているものを見直そう

5～6年



■ 教材	1時限用	44	■ ワークシート	1時限用	54
	2時限+調理実習用	46		2時限+調理実習用	56
■ 補足資料		48			
■ 指導案	1時限用	50			
	2時限+調理実習用	52			

青少年赤十字加盟校のSDGs実践事例

■ 栃木県立小山西高等学校 JRC 部	58	■ 富山県南砺市立福光中学校	60
■ 福島県立白河実業高等学校 JRC 委員会	59	■ 三重県津市立村主小学校	62

巻末資料

64

本冊子に掲載の教材・補足資料・指導案・ワークシートは、日本赤十字社のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jrc.or.jp/volunteer-and-youth/youth/document/#sdgs>





教材 P. 1

教材-P.1

プロローグ
自分となかよし みんなとなかよし
地球となかよし SDGs

提供:サイネット

わたしたちは学校で、町の中で、また、新聞やテレビ・インターネットで、困っている人や苦しんでいる人を見かけることがあります。

そんなとき、あなたの心の中にどのような気持ちが生まれますか？

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 3

教材-P.3

わたしたちに何ができるかな

写真:鈴木敏祥(提供:公益財団法人日本野鳥の会)

写真を見てどう思う?
わたしたちは何から始めたらいいのかな?

教材 P. 2

教材-P.2

エスディーゼーズ
SDGsってなんだろう

世界には昔も今も、小さなことから大きなことまで、たくさん問題があります。
世界の問題には一人で解決できるものもあれば、みんなで協力しないと難しいものもあります。
だから、よりよい世界を築くため
みんなが協力して取り組めるように、
だれ一人取り残さず、すべての人が
平和に暮らせるための2030年までの**目標**を、
世界中の国々が話し合っ作りました。

平和で幸せな世界を願う気持ちはみんないっしょだよ。

その目標は「エスディーゼーズ SDGs(持続可能な開発目標)」と呼ばれています。

よりよい未来はみんなで協力して作っていくものなんだね。
あなたはどのような問題が気になるかな?

教材 P. 4

教材-P.4

何から始めたらいいのかな

気づく → 考える → 実行する

まず、自分の周りを注意深く見まわしてみよう。

どうやったら解決できるのか、計画を立ててみましょう。

計画に沿ってみんなで取り組みましょう。

やってみたら忘れずに記録を残そう。
次はもっとよいことができるようになるよ。



教材 P. 5

教材-P.5

いっしょに考えてみよう



プロローグ 自分となかよし みんなとなかよし 地球となかよし SDGs

想定対象
1～6年

- ねらい：用意されている4つの教材の実施前に、身の回りや世界にはさまざまな課題があることに気づき、SDGsの理念を理解し、自分ごととして考え、学習に意欲をもって取り組めるようにする。
- 関連する教科：国語、社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習 など
- 準備：ワークシート、タブレット
- ◆評価の観点：
 - (知技) SDGsの理念を理解できたか。
 - (思判表) 問題解決への取り組み方を理解することができたか。
 - (主) 問題解決の取り組みを自分ごととして考えることができたか。

■指導計画 (15～20分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教材 P.1 写真を見て、どのような場面なのかに気づき、それぞれの場面に思いをはせる。 ●教材 P.2 SDGsの説明を受け、平和で幸せな世界を願う気持ちはみんな一緒であることに気づき、「よりよい世界を築くためみんなが協力して取り組めるように、だれ一人取り残さず、すべての人が平和に暮らせるための目標を、世界中の国々が話し合っ」作った目標がSDGsであることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「漂流するプラごみ」「貧困」「目の不自由な人」「道がわからない旅行者」「山林火災」「洪水」等教材の写真から、児童の気づきを促す。
展開 10分～ 15分	<p>●映像視聴 (5分)</p> <p>考える 教材 P.3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●写真を見て、どのようなことに困っているのかを考える。 ●自分たちの身の回りにどのような問題があるのかを考える。 ●教材 P.4 問題を解決するための思考パターン、「気づく」→「考える」→「実行する」について理解する。 <p>実行する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4つの教材を使って学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に映像を視聴するのではなく、電子黒板やプロジェクターなどを活用し、全員が一斉に見やすい環境で視聴するのが望ましい。 ・(時間外の課題として、)ワークシートを利用し身の回りの問題に気づかせ、解決策を考えさせる。

※1～3年の授業で活用するために

- ・教材 P.1 と教材 P.3 にある写真の中から、「目の不自由な人」「ごみ」「おなかに赤ちゃんがいる人」の写真に注目させ、身の回りでどのような困りごとがあるか気づけるようにする。
- ・みんなが気持ちよく過ごすために、自分たちが「気をつけること」や「できること」を具体的に考えられるようにする。
- 例：点字ブロックの上に物を置かない、ごみは持ち帰る、席をゆずる、など。

■指導例

時間	指導例 T(指導者) C(児童)	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ T-1 「みなさんはSDGsという言葉を知っていますか。聞いたことがある人は手を挙げてください。」 ・ C数人 「ある」「ない」など様々な反応 ・ T-2 「これからみなさんにSDGsについて知ってもらい、SDGsに向かって自分たちができることを考えていく学習をしてみたいと思います。」 <p>気づく 教材 P.1 提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-3 「まず、この6枚の写真を見てください。どのような写真かわかりますか。」 ・ C数人 「川(海)にごみがいっぱい。」 「子どもが頭に荷物を載せて運んでいる。」 「山火事が起きている。」「洪水が起きている。」 など ・ T-4 「そうですね。自然災害や環境汚染、貧しい暮らしなどで生活が厳しく、困っている人たちが世界中にはたくさんいますね。」 ・ T-5 「どのような気持ちになりますか？」 <p>教材 P.2 提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-6 「SDGsとは、だれ一人取り残さず、すべての人々が平和に暮らしていくための目標のことです。世界中の国々が話し合って2015年に定められました。」 「では、SDGsについて映像で詳しく見ていきましょう。」 	
展開 10分～ 15分	<p>映像視聴(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-7 「どうでしたか。SDGsの具体的な目標はいくつありましたか。気がついた人は手を挙げてください。」 ・ C数人 「17個です。」 ・ T-8 「そうですね。2030年までにこれらの目標を達成することをめざしています。」 <p>考える 教材 P.3 提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-9 「では、こちらの写真を見てください。これらの写真からどのようなことに困っている人がいるのか考えてください。」 ・ C数人 いろいろな意見が出るが、9枚の写真について補足説明をしながらそれぞれの写真の内容を確認させる。 ・ T-10 「だれ一人取り残さず、すべての人々が平和に暮らしていくためには世界中の人々の協力が必要です。みんなが自分たちにできることを考えて実行していかなければなりません。」 <p>教材 P.4 提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-11 「そのためには私たち一人ひとりが、問題に気づき、解決方法を考え、計画に従って実行するという取り組みが求められます。」 <p>実行する 教材 P.5 提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T-12 「これからこの4つのテーマについて、SDGsの目標達成に向けて自分たちにできることを実際に考えていきましょう。」 	

エスティジーズたっせい

SDGs達成に向けてできることを考えよう

年 組 番 名前

ワークシート

1. 身の回りや世界にはどのような問題(困りごと)があるか考えよう。

どこで	どのような問題(困りごと)があるか

2. 問題を解決するために自分たちができることを考えよう。

どのような問題を	どのようにして解決していくか

3. SDGs(持続可能な開発目標)達成のために大切だと思うことを書こう。



教材 P. 1

教材-P.1

海洋プラスチックごみ問題解決のために プラスチックごみを減らそう



左の写真は海岸に流れ着いたプラスチックごみだよ。



The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 3

教材-P.3

プラスチックごみを減らすためにできることは？

リデュース
ごみを減らそう

製品を作るときに使う資源の量や廃棄物の発生が少なく、長持ちする製品を買う。



Reduce

リユース
繰り返し使おう

自分が使わなくなっても捨てずに、繰り返し使う。



Reuse

リサイクル
再利用しよう

原材料やエネルギー源として有効利用する。



Recycle

これらをまとめて「3R」というよ。



「エコジーン」3R徹底宣言!
(環境省)

教材 P. 2

教材-P.2

海洋プラスチックごみの種類

漂流ごみ
海面や水中にういているごみ。風や海流によって遠くまで流されることもある。

漂着ごみ
海岸に打ち上げられたごみ。木や海藻のほか、生活ごみなどもある。

海底ごみ
海底に沈んでいるごみ。

どうして海洋プラスチックごみが増えているのだろう？




プラスチックは波や太陽光の影響で細かく砕けて自然界に残るよ。






教材 P. 4

教材-P.4

「3R」を参考に、プラスチックごみを減らすために どのようなことができるか具体的に考えよう


- 1 できることをワークシートに書き出す
- 2 グループで意見を出して、話し合う
- 3 意見を場面ごとに分ける
- 4 「わたしの3R宣言」を作る

どのような場面で、プラスチックごみを出さないような行動ができるかな。

買い物をするときにお店で取り組めることはないかな。

「わたしの3R宣言」

家	学校
お店	その他



補足資料①

海鳥とプラスチックごみ



ふくろがくちばしにからまる
タンチョウ



つり糸が足にからまった
キアシシギ

提供:公益財団法人日本野鳥の会

補足資料①

補足資料③

マイクロプラスチック

直径5mm以下のプラスチックのことを、マイクロプラスチックといいます。

①ビニールぶくろなどのプラスチック製品が、波や紫外線により細かくなったもの



②はじめから小さなプラスチック



歯みがき粉などに
入っている
スクラブ材



洗たくのときに出る、
服(合成せいの)
糸くず

補足資料③

補足資料②

海の生き物のおなかから出てきたプラスチックごみ

日本周辺にいたサメとカメから見つかりました。



ジンベエザメのおなかから見つかった
プラスチック製のくしの一部



アオウミガメのおなかから出てきた、
ビニールなどのごみ

提供:株式会社海遊館

補足資料②

補足資料④

マイクロプラスチックの問題

マイクロプラスチックは小さいため、回収が難しく、現在も調査が進められています。体に悪い影響をあたえるものがくつきやすく、海の生き物や人の体への影響が心配されています。

海の生き物への影響



えさとまちがって食べることで、
体に悪いものが体内に入ってしまう。

↓
病気の生き物が増え、
生き物の数が少なくなるかも……。

人の体への影響



マイクロプラスチックを食べた魚を、
人が食べる。

↓
健康に影響が出るかも……。

補足資料④

海洋プラスチックごみ問題解決のために プラスチックごみを減らそう

想定対象
5年

■ねらい：海洋プラスチックごみが環境に与えている影響を調べ、プラスチックごみを減らすために自分ができることを考え、実行できるようにする。

■関連する教科：国語、社会、理科、道徳、総合的な学習 など

■準備：ワークシート、タブレット、模造紙、ふせん など

◆評価の観点：

(知技) 海洋プラスチックごみの問題点を理解できたか。

(思判表) プラスチックごみの削減について、実行可能な案を考えて発表することができたか。

(主) 友だちと意見を出し合い、問題を解決しようとすることができたか。

■指導計画 (45分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>気づく 教材 P.1</p> <p>●プラスチックごみが漂着した海岸の写真を見て、海洋プラスチックごみに対する問題意識を持つ。</p>	<p>・どこから来たごみかを考えさせる。地元のごみだけでなく、海を漂流してきたごみもあることに気づかせる。</p>
展開 30分	<p>●教材 P.2 海洋プラスチックごみとはどのようなものかを確認する。</p> <p>・海洋ごみの種類のイラスト、海の生き物や、細くなったプラスチックの写真を見る。(→補足資料①②③)</p> <p>・参考動画(イルカ or 海鳥)を見せ、海洋ごみが環境や生物に対してどのような影響があるかを考え、ワークシートに記入する。(→ワークシート①)(→補足資料④)</p> <p>考える 教材 P.3</p> <p>●プラスチックごみを減らすための「3R」を確認する。</p> <p>●教材 P.4 「3R」を踏まえ、プラスチックごみを減らすために、自分は何ができるか、生活の場面を想定して考え、意見を書き出す。(→ワークシート②)</p> <p>例) 水筒を持って出かける。マイバッグを使う。つめかえを買う。ラッピングを断る。買った店の回収ボックスを利用する。修理して使う。など</p> <p>・グループで意見を出し合い、話し合う。</p> <p>実行する</p> <p>●グループで出した意見をカードなどに書き出し、当てはまる場所に貼る。</p>	<p>・細かくくだけたプラスチックは、回収が難しいという点も伝える。</p> <p>・海洋生物や漁業をする人、海岸近くに住む人に思いをはせられるとよい。</p> <p>※マイクロプラスチックの人体への健康被害も心配されていることを知らせる。</p> <p>・「3R」の英語の意味についても説明する。</p> <p>・これらと関連させて、今日では Refuse(リフューズ/断る)を加えて「4R」、さらに Repair(リペア/修理)を加えて「5R」が唱えられていることを補足説明する。</p> <p>・友だちの発表から、自分が取り入れたいものをワークシート②に書かせる。</p> <p>・家、学校、店、その他の項目を分けた模造紙などを準備し、児童が自由にカードなどを貼れるようにしておく。</p>
振り返り 10分	<p>●ほかのグループの意見も確認して、よいと思った意見をワークシートに記入する。自分の意見とあわせ、自分が取り組みたいことを書く。(→ワークシート③)</p>	

■参考動画 (NHK for School)

【地球は放置しても育たない 放置しないで！プラスチックごみ問題】(約15分)

地球を育成するスマホゲームをモチーフに、今地球がどのような問題に直面しているのか、SDGsの17の目標をなぜ達成しないといけないのかを、擬人化した地球と考える番組。この回では、プラスチックが海の生き物に与える影響、マイクロプラスチックやそれよりも小さいナノプラスチックの紹介がされている。また実際に浜でマイクロプラスチックを見つける方法も紹介され、子どもたちにマイクロプラスチックの問題を身近に感じてもらうことができる。

https://edu.web.nhk/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180491_00000

【イルカが食べたごみ】(約1分15秒)

餌と間違え、プラスチック製の袋を飲み込んで死んでしまったイルカを紹介している。イルカは餌を丸のみする習性があるが、プラスチックの袋は消化されず胃に詰まり、死んでしまった。自分たちが出したお菓子の袋などのごみが、海の生き物の命を奪っているかもしれないことに気づかせ、ごみをきちんとごみ箱などに捨てることや3Rを意識した行動の重要性につなげることができる。

https://edu.web.nhk/school/watch/clip/?das_id=D0005402551_00000

【海鳥が食べたごみ】(約1分15秒)

海鳥が餌の魚をとる時に海水と一緒にプラスチックのかけらを飲み込んでしまい、その結果胃を傷つけたり、消化管に詰まったりして死んでしまう問題を紹介している。細かくくだけたプラスチックが生き物たちに与える影響や、ゴミ問題の深刻さが分かる。

https://edu.web.nhk/school/watch/clip/?das_id=D0005402567_00000

■海ごみへの対策 長崎県対馬市の取り組み

九州と韓国の間位置する対馬市は、対馬暖流や季節風の影響で、年間3万～4万立方メートルのごみが漂着し、全国の市町村の中で最も多いとされている。市では企業や民間組織と協力し、海ごみの調査・研究のほか、ボランティアによる海岸清掃の受け入れ、漂着したプラスチックごみを細かくくだけてボールペンやごみ袋に再利用する取り組みなどを行っている。市内の小中学校では、海ごみについての授業や海岸清掃が行われている。

また、海ごみ削減を目指し、国内だけでなく外国の企業や団体とも協力してシンポジウムや清掃活動を行い、海ごみの現状や、再資源化などの課題を国内外に発信している。

【対馬海ごみ情報センター】

対馬市民と、対馬市の関係部署、国や県、漁業協同組合関係者などが連携・協働し、対馬の海岸や海の環境を保全する活動をするための組織。対馬市の海ごみ対策に関する情報をまとめ、ウェブサイトなどで発信したり、ボランティアの受け入れやワークショップ、学校への出前授業などを行ったりしている。

<https://tsushima-mltic.com/>

■その他参考

環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務

「海洋ごみ学習用教材 小中学生用」

小学5年生～中学生を対象に、社会科や家庭科などの授業で海洋ごみに関連する単元の題材として利用できるスライド教材。海洋ごみ問題について写真と図をメインにまとめられ、スライドごとに「解説」「説明のポイント・効果」「使用例(・発展例)」がついており、使用する目的や内容に合わせて使うことができる。

海洋ごみは実は山や内陸の町からも来ていること、外国からのごみも多く漂着しており世界全体で取り組まなくてはならない問題であることが分かる。

<https://www.env.go.jp/content/900543595.pdf>

プラスチックごみを減らそう

年 組 番 名前

ワークシート① 海洋プラスチックごみは、生き物や環境にどのような影響をあたえているのでしょうか？

ワークシート② ^{スリーアール}3 R それぞれで自分がやっていること、できることは何でしょうか？

リデュース	
リユース	
リサイクル	

年 組 番 名前

友だちの発表から、取り入れたいものを書こう。

リデュース	
リユース	
リサイクル	

ワークシート③ 場面ごとに、「わたしの^{スリーアールせんげん}3 R 宣言」を考えて書こう。

家	学校
お店	その他



教材 P. 1

みんなが学校で快適に過ごせるように
校内ピクトグラムを考えよう

図書室
動物の本はどこかな
動物の本はこのあたりだよ
あった！ありがとうございます
どうした？
動物の本が見つからなくて…
もっと本を探しやすくするにはどうしたらいいかな
本が見つからない
一年生

教材-P.1

The content of this publication has not been approved by the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 2

ピクトグラムを見つけよう

ピクトグラムとは、特別な知識がなくても見ただけで意味がわかり、言葉や文化がちがう人にも情報を伝えることができる記号です。町のどのようなところでピクトグラムが使われているのでしょうか。

多くの人が利用する駅や、デパートなどにたくさんありそうですね。

いろいろな色や形のものがあるね。

ほかにどのようなピクトグラムがあるかな？
タブレットなどで調べてみよう。
学校でも使われているピクトグラムはあるかな？

教材-P.2

教材 P. 3

ピクトグラムの意味を考えよう

どのような形？	どのようなデザイン？	どのような色？
<p>人の形。人の動作を表すときなどに使われます。</p>	<p>非常口があることをシンプルでわかりやすくデザインしています。</p>	<p>赤 もっとも強く感じられる色です。赤信号など、危険や禁止を知らせるときに使われます。</p>
<p>物の形。どのような場所か、何がある場所かを表すときなどに使われます。</p>	<p>泳ぐ動きに、ななめに線を引いて、遊泳禁止を表しています。</p>	<p>黄 黒と組み合わせると目立ちます。工事中の標識など、注意や危険を知らせるときに使われます。</p>
<p>想像の形。目に見えないものをだれにでもわかるように伝える難しさがあります。</p>	<p>文字と組み合わせ、より正しく伝わるようにしています。</p>	<p>青 気持ちを落ち着かせる色です。情報を伝え、指示や誘導をしたいときに使われます。</p>
		<p>緑 安らぎをあたえる色です。非常口など、安全や避難を示したときに使われます。</p>

教材-P.3

教材 P. 4

校内ピクトグラムを作ってみよう

- 形(表現する内容)を決める
- シンプルなデザインを考える
- イメージを考えて色を決める
- 発表して意見を聞き、よりよくなる

図書室のほかに、ピクトグラムが効果的な場所はあるかな？

わかりやすくなった？

これならわかりやすいな

動物 魚

教材-P.4

補足資料①

いろいろなところにあるピクトグラム①



横断歩道にある、白と青のおしボタンは、体が不自由な人のためにあります。ボタンをおすと青信号の時間が長くなったり、青信号のあいだ音が流れたりします。



優先席を利用する人のマーク。お年寄りや、けがや病気をしている人、小さな子どもといっしょの人などのための席を表しています。

補足資料①

補足資料②

いろいろなところにあるピクトグラム②



写真をとることを禁止しています。



そうじ中で、ゆかがすべりやすくなっていることを知らせています。



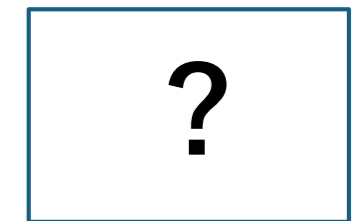
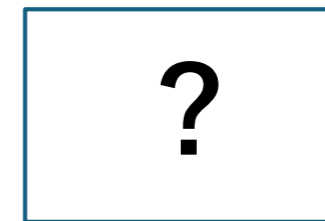
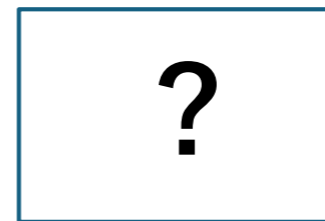
災害があったときに避難する場所を知らせています。

補足資料②

補足資料③

ピクトグラム クイズ

ハートラちゃんの額にあるのは何のマークでしょうか？



補足資料③

補足資料④

クイズの答え

ハートラちゃんの額にあるのは赤十字のマーク。災害や紛争などで傷ついた人々を助ける人や施設がつけます。



車いすの利用者だけでなく、体が不自由なすべての人が利用できる建物や施設などを表す国際シンボルマークです。

※世界共通のシンボルマーク



ヘルプマークは、見た目ではわからなくても、まわりに、助けが必要なことを知らせるマークです。



耳マークは、耳が不自由なことを表すほか、耳が不自由な人をサポートできることを表すマークです。

補足資料④

補足資料⑤

【例】

	〔 学校 〕	〔 公園 〕	〔 〕
〔 赤色 〕			
〔 青色 〕			
〔 緑色 〕			
〔 〕			

見つけたピクトグラムを
表を使って分けてみよう。
どのような持ちようが
あるかな？



補足資料⑤

みんなが学校で快適に過ごせるように 校内ピクトグラムを考えよう

想定対象
4年

■ねらい：身の回りにあるピクトグラムの役割や必要性を知り、「他者を思いやる」ことを意識させ、図書室の本棚のピクトグラムを考え、効果的に表現できるようにする。

■関連する教科：国語、社会、算数、図工、道徳、総合的な学習、特活(委員会活動) など

■準備：ワークシート、タブレット など

◆評価の観点：

(知技) 身の回りにあるピクトグラムの役割や必要性を理解できたか。

(思判表) 図書室の本棚に設置するピクトグラムを考え、表現できたか。

(主) 友だちのアドバイスでピクトグラムを修正し、効果的に作成したか。

■指導計画 (90分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
1時間 導入 5分	気づく 教材 P.1 ●4コマ漫画を見て本を探しやすくするという課題を発見する。(→補足資料①②)	・課題を解決する一つの方法として、ピクトグラムの役割や必要性に気づかせる。
展開 40分	教材 P.2 ●ピクトグラムとは何かを知る。 ●町の中にあるピクトグラムを探す。 ・タブレットなどを使って、どのような場所に、どのようなピクトグラムがあるか確認し、集める。(→ワークシート①) ・ピクトグラムの身近な例とその役割を確かめる。	・ピクトグラムについて説明する。 ・今までに見たピクトグラムを思い出させ、子どもや外国人など言葉や文化の違いだけでなく、年齢の違いがあっても情報が伝わりやすいことも付け加える。
2時間 導入 5分	考える 教材 P.3 ●ピクトグラムの意味を考え、理解する。 ・人や物の形、デザイン、色の持つ意味などを理解する。 ・ピクトグラムクイズにチャレンジする。(→補足資料③④)	・図柄だけでなく、色や形にも注目させる。 ・集めた図柄の特徴を「見つけた場所」「色」などで分類させてもよい。
展開 30分	実行する 教材 P.4 ●校内図書室の本棚に設置するピクトグラムを作る。 ・手順に沿って考えていく。(→ワークシート②) ・作ったピクトグラムをグループで見せ合い、よりわかりやすくするためのアドバイスを出し合う。 ・意見を反映して修正し、完成したピクトグラムをワークシート②の3に書く。	・1年生にもわかりやすいものを考えさせる。 ・児童の発想を尊重する。
振り返り 10分	●自分がかいたピクトグラムの工夫した点などを発表する。	・ピクトグラムの特徴である「わかりやすい」「だれでもわかる」のような意見でまとめられるとよい。 ・各グループから代表1名に発表させる。または、全員の作品を教室に掲示するなどして、良い作品を選ばせる。

発展：校内で図書室のほかにピクトグラムが効果的な場所とそのピクトグラムを考えさせる。(ワークシート③)

■案内用図記号 (JIS Z8210)

案内用図記号 (ピクトグラム) は国土交通省によると「不特定多数の人々が利用する公共交通機関や、公共施設、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念または状態に関する情報を提供する図形」と定義されている。また、ピクトグラムを必要とする人物像は、「視力の低下した高齢者や障害のある方、外国人観光客等」とされており、これらの対象者にも理解が容易な情報提供手法として、「日本を含め世界中の公共交通機関、観光施設等で広く掲示」されているものである。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 (以下、東京 2020 オリンピック) の際には、たくさんの外国人観光客の訪日に備えて、外国人にもより伝わりやすいデザインに変更された。

【案内用図記号 (JIS Z8210)】

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/content/001727468.pdf>



●東京 2020 オリンピックでのピクトグラム

東京 2020 オリンピックでは、大会のさまざまな競技の特徴をとらえたシンプルでデザイン性の高いピクトグラムが作成され、世界中から注目を集めた。また、開会式でもパントマイムのパフォーマンスでコミカルにピクトグラムを表現して話題となった。

【東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム (動画)】

<https://youtu.be/B7YMcX-ttA?feature=shared>



●都道府県の取り組み

鎌倉市や京都市など、国内外から多くの観光客が集まる都市では、公共の場でのマナーの向上を啓発することを目的として、独自にピクトグラムを作成して普及活動を行っている。

【鎌倉市／迷惑行為ピクトグラム】

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/mannerruleshead.html>



【京都市／マナー啓発ツール「ENJOY RESPECT KYOTO」】

<https://www.kyokanko.or.jp/news/20190930/>



●その他参考

・人権の視点から

ふらっと 人権情報ネットワーク

「すべての人にやさしいピクトグラム～進化する多様性へのみちしるべ～」

https://www.jinken.ne.jp/flat_class/2024/05/post_50.html



・街の中のバリアフリー

政府広報オンライン

「知っていますか？街の中のバリアフリーと「心のバリアフリー」」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201812/1.html>



校内ピクトグラムを考えよう

年 組 番 名前

ワークシート①

どのようなピクトグラムがあるか探^{さが}してみよう。

場所	見つけたピクトグラム	ピクトグラムの意味

4年用

年 組 番 名前

ワークシート②

1. 図書室の本だなのピクトグラムを作ってみよう。

・表す内容

・デザインと色

・デザインや色を決めた理由

2. 友だちからのアドバイス（わかりやすくするためのくふう）

3. 修正して完成させよう。

・気をつけた点

4年用

年 組 番 名前

ワークシート③

校内で必要なピクトグラムを作ろう。

必要な場所	ピクトグラムの意味	ピクトグラムの案

みんなが安心して過ごせる町 こんなマークをさがしてみよう

想定対象
1～2年

■ねらい：学校周辺にある安全に関するマークの存在を知り、それぞれの意味と役割を考えることができるようにする。

■関連する教科：国語、生活、道徳、総合的な学習 など

■準備：ワークシート、タブレット、校外学習の際は帽子、水筒 など

◆評価の観点：

(知技) 学校周辺にある安全に関するマークの存在に気付けたか。

(思判表) 学校周辺で見つけた安全に関するマークの意味と役割を考え、表現できたか。

(主) 登下校やふだんの生活でマークを意識して安全な行動をしようとしているか。

■指導計画 (90分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
1時限 導入 10分	気づく ●トイレや非常口など、校内にある身近なマークを見て、それぞれのマークに意味があることに気づく。	・タブレット等で身近なマークの画像を準備する。 ・学校独自のものがあれば事前にタブレット等で撮影しておき、それを提示する。
展開 35分	考える ワークシートの写真 ●ワークシート上部の写真を見ながら、安全に関するマーク(標識や看板など)を確認する。 ・見たことがあるか、ないか、などを発表する。 ●学校のまわりを歩く計画を立てる。 ・「安全に関するマークを1つ見つけよう」のように、探す目標を立てる。	・学校周辺の地図を見せながら、歩くルート、持ち物、ルール、マナーをみんなで確認する。 ・必ずコースの下見をする。
2時限 導入 5分	●先生から学校周辺の危険な場所と注意点についての話を聞く。	・学校周辺の地図で場所を確認させる。
展開 20分	実行する ●学校周辺のコースを歩き、みんなでマークを探す。 ・気づいたことがあれば、タイミングを逃さず安全な場所で伝え合う。工事中のマークは黄色くて目立つ、渡ってはいけないところには赤い看板があった、など。	・交通ルールを守り、安全な歩き方を する。 ・見つけたマークを先生がタブレット で撮影する。
振り返り 20分	●教室に戻ったあと、ワークシートで整理する。 (→ワークシート) ●学校周辺で見つけたマークに丸をつける。 ●マークを1つ選び、どこにあったか、マークが知らせていることを書き、友だちと報告し合う。	・撮影した画像を提示して、どのよう なところにあったマークかを共有す る。 ・まとめ際には、マークがあること でみんなが安心・安全に注意して過 ごせることを伝え、安全に気をつけて生 活することを改めて意識づける。

1～2年用

こんな マークを さがして みよう

年 組 番 名前

ワークシート

1. 学校の まわりに にて いる マークは ありますか。
見つけた マークに 丸を つけましょう。

① () ② () ③ () ④ ()



⑤ ()

⑥ ()

⑦ ()

⑧ ()



2. 見つけた マークを 一つ えらんで 気づいた ことを
か 書きましょう。

・マークの ばんごう

・マークの あった ばしょ

・それは 何の ための マークでしょう。

マークが 知らせて いる ことを 書きましょう。



教材 P. 1

2時限用教材-P.1



みんなが楽しく参加できるように スポーツを考えてみよう



The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 3

2時限用教材-P.3

運動会で低学年といっしょに取り組める種目を考えよう

種目を考えるときのポイント

- ① ルールはみんなが理解しやすいこと。
- ② 身体的な負担が少ないこと。
- ③ だれにでも勝つチャンスがあること。

どのようなことに
気をつければ、みんなが
楽しめるものになるかな？



道具のくふう



一般の競技で使うボールよりも、大きくてやわらかく、軽いビニールなどでできたボールを使うと、ボールのスピードがゆっくりになる。



やわらかい素材でできた道具なら安全だね。

場所のくふう



コートをせまくすると、走る距離が短くなり、体力の差が感じられにくくなる。教室の広さでもできるスポーツもあるかも。



たくさん走らなくていいなら、体力がない人も楽しめそうだね。

教材 P. 2

2時限用教材-P.2

ゆるスポーツの例

みんなが楽しめるように、それぞれ
どのようなくふうがされているかな？



500歩サッカー



全員が500歩までしか動けないサッカー。1歩動くと歩数が1ずつ減る。0歩になると退場になるが、その場で休けいすると歩数が回復していく。

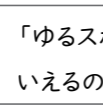


「ゆるい」とは、どのようなときに使う言葉だろう。

ブラックホール卓球



中心にあながあいたラケットを使う。あなの大きさは数種類あり、得点数などによって変える。



「ゆるスポーツ」は、どのようなスポーツといえるのかな？

イモムシラグビー



寝転がった姿勢で行うラグビー。ほふく前進か、転がって進む。決まったゾーンにボールを置けば得点。ボールを持っているときにタッチされたら相手ボールとなる。



教材 P. 4

2時限用教材-P.4

みんながいっしょに楽しめるかな？

- ① もとにするスポーツを決める
- ② 遊び方を考える
- ③ みんなに感想を聞き、よりよくなる
- ④ ふだんの生活にどう生かせるか、考える



遊び方が少し変わっただけで
スポーツが苦手でも楽しめたよ。

スポーツ以外でも、思いやりを
大切にしたい場面はあるかな？



ふだんの生活に生かせること

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

3 時限用

教材 P. 1

3時限用教材-P.1



みんなが楽しく参加できるように
スポーツを考えてみよう



The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 3

3時限用教材-P.3

運動会で低学年といっしょに取り組める種目を考えよう

種目を考えるときのポイント

- ① ルールはみんなが理解しやすいこと。
- ② 身体的な負担が少ないこと。
- ③ だれにでも勝つチャンスがあること。

どのようなことに気をつければ、みんなが楽しめるものになるかな?



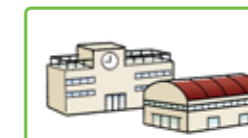
道具のくふう



一般的な競技で使うボールよりも、大きくてやわらかく、軽いビニールなどでできたボールを使うと、ボールのスピードがゆっくりになる。

やわらかい素材でできた道具なら安全だね。

場所のくふう



コートをせまくすると、走る距離が短くなり、体力の差が感じられにくくなる。教室の広さでもできるスポーツもあるかも。

たくさん走らなくていいなら、体力がない人も楽しめそうだね。

教材 P. 2

3時限用教材-P.2

ゆるスポーツの例

みんなが楽しめるように、それぞれどのようなくふうがされているかな?



500歩サッカー



全員が500歩までしか動けないサッカー。1歩動くと歩数が1ずつ減る。0歩になると退場になるが、その場で休けいすると歩数が回復していく。

ブラックホール卓球



中心にあながあいたラケットを使う。あなの大きさは数種類あり、得点数などによって変える。

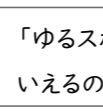
イモムシラグビー



寝転がった姿勢で行うラグビー。ほふく前進か、転がって進む。決まったゾーンにボールを置けば得点。ボールを持っているときにタッチされたら相手ボールとなる。



「ゆるい」とは、どのようなときに使う言葉だろう。



「ゆるスポーツ」は、どのようなスポーツといえるのかな?



教材 P. 4

3時限用教材-P.4

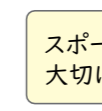
みんなでいっしょに楽しめるスポーツを作ってみよう

- ① もとにするスポーツを決める
- ② 遊び方を考える
- ③ 考えた遊び方でスポーツをする
- ④ みんなに感想を聞き、よりよくする
- ⑤ ふだんの生活にどう生かせるか、考える

ふだんの生活に生かせること



遊び方が少し変わっただけでスポーツが苦手でも楽しめたよ。



スポーツ以外にも、思いやりを大切にしたい場面はあるかな?



🕒 2時限、3時限 共通

📖 補足資料①

ユニバーサルスポーツ

ゆるスポーツのほかに、年れいや国せき、障がいの有無などに関係なく、みんなでいっしょに楽しむことができるスポーツをユニバーサルスポーツといいます。



JICA東京「ユニバーサルスポーツフェスティバル2024」風船バレーの様子

©2024 JICA TOKYO

補足資料①

📖 補足資料③

ユニバーサルスポーツ② ペタンク



2チームに分かれ、目標となる球に向かってボールを投げ合い、目標球への近さで得点を競います。目標球にぶつけて、味方のボールに近づけることもできます。



補足資料③

📖 補足資料②

ユニバーサルスポーツ① モルック



モルックという棒を12本の木製ピンに当てて、たおしていきます。たおれたピンの本数や数字によって得点が決まり、合計50点ぴったりにした方が勝ち。



モルックと、12本のピン(スキttl)

提供: 日本モルック協会
Mölkky®はTactic社の登録商標です。

補足資料②

2 時限用

みんなが楽しく参加できるように スポーツを考えてみよう

想定対象

6年

2 時限

■ねらい：相手の身体能力やスキル、性別や体格差など、いろいろな違いを考え、新しいアイデアを生み出し、自分の考えを相手に伝えることができるようにする。

■関連する教科：国語、体育、道徳、総合的な学習 など

■準備：ワークシート、タブレット、考えたスポーツで使う道具 など

◆評価の観点：

(知技)「ゆるスポーツ」や「ユニバーサルスポーツ」の理念について理解できたか。

(思判表)いろいろな人のことを考えてスポーツのルールを考えることができたか。

(主)スポーツのルール作りを通して、相手のことを考えて行動できたか。

■指導計画 (90分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
1 時限 導入 5分	<p>気づく 教材 P.1</p> <p>●導入の写真とまんがを見て、「ゆるスポーツ」があることを知る。</p>	<p>・「ゆるい」という言葉のイメージや、「スポーツ」の目的などについて考えられるとよい。</p>
展開 40分	<p>●教材 P.2 「ゆるスポーツ」の例を確認する。</p> <p>・教材にある3種類の競技を見て、「ゆるい」の意味を考えながら、それぞれどのような工夫がされているか、意見をワークシートに書き出す。 (→ワークシート①)</p> <p>・500歩サッカーは走り回らなくていいから、体力がなくても楽しめる。ノラケットの中心に穴があいているから、慣れている人ほどやりづらいかも。 など</p> <p>考える 教材 P.3</p> <p>●「ゆるスポーツ」のルールの工夫を踏まえて、運動会で低学年と一緒に取り組める種目を、具体的に考える。</p> <p>・用具や場所、時間の工夫などを理解する。</p> <p>・グループでアイデアを出し合い、種目を決め、ルールをまとめていく。 (→ワークシート②)</p>	<p>・競技の動画を見たり、ルールを調べさせたりして、その競技のどの部分を「ゆる」くしているのかを確認する。</p> <p>・「ゆるスポーツ」はみんなで楽しむスポーツの一例であり、「すべての人が一緒に楽しめる」という理念で行われているスポーツは(ユニバーサルスポーツなど)ほかにもあることにふれる。 (→補足資料①～③)</p> <p>・競技のアイデアが出ないグループには、「男女混合でボールを使った競技をする場合、どのような工夫をすれば、みんなが楽しめるか」のようにヒントを与える。</p>
2 時限 導入 5分	<p>実行する 教材 P.4</p> <p>●考えた種目を、グループで確かめ合う。</p>	<p>・道具が必要な場合は、準備しておく。</p>
展開 30分	<p>●考えた種目をグループごとに発表する。</p> <p>・よい点、改善が必要な点を伝え合う。 (→ワークシート③A)</p>	<p>・「どのような工夫により、全員が楽しめるか」をまとめられるとよい。</p>
振り返り 10分	<p>●ほかのグループの意見や、種目や遊び方を考える上で学んだことが、日常生活にどのように生かせるかを書く。 (→ワークシート④A)</p>	<p>・日常生活のどのような場面に、思いやりや配慮が必要か、考えられるとよい。</p>

2 時限、3 時限 共通

■「ゆるい」とは

教材内に「ゆるい」(「ゆる」という言葉が出てくる。「ゆるい」という言葉には、「いいかげん」「だらだらする」といったマイナスのイメージがあるが、本来「規則などが厳しくない」「のんびりしていい好ましい」などの意味を持つ。スポーツにおいてもルールに固執したり、固定観念にとらわれたりするのではなく、自由な発想と楽しさを大切にしたい。

■世界ゆるスポーツ協会

「スポーツ弱者を、世界からなくす。」というスローガンを掲げ、年齢・性別・運動神経・障がいの有無などにかかわらず、誰もが楽しめる新しいスポーツを生みだしている。2016年設立以降、活動の輪を広げ、各地で体験イベントを行うほか、社内運動会や新入社員交流会などコミュニケーション創出を目的としたイベントにも協力している。また、自治体や企業などと協力し、地方の特色とゆるスポーツを組み合わせた「ご当地ゆるスポ」を企画し、地域活性化にも貢献している。

ゆるスポーツの作り方について、ウェブサイトのFAQ ページではスライドと指導案、ワークシートが公開されている。

【世界ゆるスポーツ協会】

ウェブサイトには、これまで考案されたゆるスポーツがルールとともに紹介されている。教材 P.1にある「玉入れ」+「くつ下」など、既存のスポーツでもルールと用具を少し工夫することで参加者全員が楽しく参加できるスポーツに生まれ変わるということが分かる。

<https://yurusports.com/>



■ユニバーサルスポーツ

ユニバーサルスポーツとは、年齢や障がいの有無を問わず、その場にいるだれもが楽しく参加でき、また参加者全員に勝つチャンスがあるように考えられたスポーツのことで、バリアフリースポーツ・生涯スポーツ・ノーマライゼーションスポーツ・ニュースポーツなどとも呼ばれることがある。

ユニバーサルスポーツは既存のものをそのまま利用するだけでなく、参加者の年齢、障がいの有無、人数など特徴にあわせて、コートを広くする、ルールを簡単にするなど柔軟に変えることも重要である。

・モルック…決まった位置から木の棒を投げて、倒した木製のピンの本数などで得点を競う。

・ペタンク…目標となる球に向かって金属製のボールを投げ合い、相手のボールよりも目標に近づけることで得点を競う。

・ポッチャ…白いボール(ジャックボール)に、赤・青それぞれ6球ずつボールを投げ、いかに近づけるかを競う。パラリンピックの正式種目。


【パラスポーツ スタートガイド】

パラスポーツと聞くと、パラリンピックの名前から、障がいのある人のために考えられたスポーツという印象があるが、本来は障がいの有無にかかわらず取り組めるスポーツを表す。

「パラスポーツ スタートガイド」ではパラスポーツの競技内容と魅力を紹介している。「競技紹介」では一般競技との違いが図で分かりやすく説明されているほか、「チャレンジパラスポーツ」では選手による練習のコツや、障がいのない人によるパラスポーツ体験談が紹介されており、障がいのある人・ない人両方の視点からスポーツのルールを考える助けになる。

<https://parasports-start.tokyo/about/>



 3時限用

■実際にやってみる場合 「教材_スポーツを考えてみよう3時限用」を使用
学年を超えて一緒に取り組む時間があれば、考えた種目やスポーツを実際にやってみる。

想定対象
6年 3時限

■指導計画 (135分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
1時限 導入 5分	気づく 教材 P.1 ●導入の写真とまんがを見て、「ゆるスポーツ」があることを知る。	・「ゆるい」という言葉のイメージや、「スポーツ」の目的などについて考えられるとよい。
展開 40分	●教材 P.2 「ゆるスポーツ」の例を確認する。 ・教材にある3種類の競技を見て、「ゆるい」の意味を考えながら、それぞれのどのような工夫がされているか、意見をワークシートに書き出す。 (→ワークシート①) ・500歩サッカーは走り回らなくていいから、体力がなくても楽しめる。ノケットの中心に穴があいているから、慣れている人ほどやりづらいかも。 など 考える 教材 P.3 ●「ゆるスポーツ」のルールを踏まえて、運動会で低学年と一緒に取り組める種目を、具体的に考える。 ・用具や場所、時間の工夫などを理解する。 ・グループでアイデアを出し合い、競技を決め、ルールをまとめていく。 (→ワークシート②)	・競技の動画を見たり、ルールを調べさせたりして、その競技のどの部分を「ゆる」くしているのかを確認する。 ・「ゆるスポーツ」はみんなで楽しむスポーツの一例であり、「すべての人が一緒に楽しめる」という理念で行われているスポーツは(ユニバーサルスポーツなど)ほかにもあることにもふれる。(→補足資料①～③) ・競技のアイデアが出ないグループには、「男女混合でボールを使った競技をする場合、どのような工夫をすれば、みんなが楽しめるか」のようにヒントを与える。
2・3時限 導入 5分	実行する 教材 P.4 ●考えた種目を、グループで確かめ合う。 ●低学年にスポーツのやり方を説明する。	・あらかじめ活動場所を確保する。教室の場合は、隣のクラスに声をかけておく。 ・道具が必要な場合は、準備しておく。
展開 60分	●ルールを守って低学年と一緒にスポーツを行う。 ・まわりの友だちが楽しめているか、楽しめていない友だちに声をかけ、意見を聞く。	・実際に運動会などで種目を実演してもよい。
振り返り 25分	●実行してわかった問題点を確かめる。 (→ワークシート③B) ●よい点、改善が必要な点を伝え合う。 (→ワークシート④B) ●ほかのグループの意見や、種目や遊び方を考え実行して学んだことが、日常生活にどのように生かせるかを書く。 (→ワークシート⑤)	・日常生活のどのような場面に思いやりや配慮が必要か考えられるとよい。

1～3年で取り組む場合は、6年3時限用の2時限目から参加する。

想定対象
1～3年 2時限

■指導計画 (90分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	●これから始めるスポーツのルールなどの説明を聞く。	・6年生にスポーツのやり方を説明させる。
展開 60分	●ルールを守って6年生と一緒にスポーツを行う。 ・仲間に入りたくてもなかなか言い出せない子には、声をかける。 ・ルールに戸惑っている子がいる場合には、6年生に協力を求める。	・実際に運動会などで種目を実演してもよい。 ・6年生には低学年がルールを守って楽しくできるようにアドバイスをさせる。
振り返り 25分	●どのようなスポーツをしたかを書く。 (→ワークシート⑥) ●スポーツをしたときの気持ちを書き、伝え合う。 (→ワークシート⑦) ・走るのが苦手でも楽しめた、6年生に勝ててうれしかった、ルールがわかりやすかった、など。 ●6年生にメッセージを書く。 (→ワークシート⑧) ・回収し、後日6年生に読んでもらう。	・書き終わったら見直しをさせ、声に出して読ませる。 ・低学年の感想に対する返事をもらえるよう、6年生のクラスに協力を求めておく。 (→ワークシート⑨)

6年 2時限、3時限 共通

スポーツのルールを考えてみよう

年 組 番 名前

ワークシート① 「ゆるスポーツ」のくふうを考えよう。

・選んだスポーツ

・よくくふうされていると思うところ。「ゆるい」と思うところ。

・友だちの発表を聞いて、気づいたところ。

6年 2時限、3時限 共通

年 組 番 名前

ワークシート② 運動会で低学年といっしょに^{しゅもく}取り組める種目^{しゅもく}を考えよう。

・もとにするスポーツ

・どのような用具を使うか／使わないか

・場所はどこで行うか

・その他、勝ち負けや注意点など

・スポーツのイメージイラストやコート^{コート}の図を書いてみよう。

6年 2時限用

年 組 番 名前

ワークシート③A 考えた種目^{しゅもく}を発表しよう。

・その種目の「ゆるい」ところ。(みんなで楽しめるところ)

・友だちの発表を聞いて、気づいたところ。

ワークシート④A 学習したことをふり返って、日常生活にどのように生かせるかを考えて書こう。

6年 3時限用

年 組 番 名前

ワークシート③B 実行してわかった問題点を書こう。

問題点

ワークシート④B 問題点を修正^{しゅうせい}して完成^{かんせい}させよう。

改善^{かいぜん}した点

ワークシート⑤ 学習したことをふり返って、日常生活にどのように生かせるかを考えて書こう。

1～3年用

ねんせい かんが 6年生が 考えた スポーツを した かんそう か 感想を 書こう

ねん 年 ぐみ 組 ばん 番 なまえ 名前

ワークシート⑥ 6年生と いっしょに どのような スポーツを しましたか。

ワークシート⑦ 6年生が 考えた スポーツを して どのような 気持ちに なりましたか。

たの 楽しかった ことや うれしかった こと

①

②

③

こまった こと

1～3年用

ねん 年 ぐみ 組 ばん 番 なまえ 名前

ワークシート⑧ いっしょに スポーツを した 6年生に つたえたい ことを 書きましょう。

ねんせい 6年生と いっしょに スポーツを して

ここから 下は 6年生が 書きましょう。

年 組 番 名前

ワークシート⑨ 6年生からお返事を書きましょう。

()年の()さんへ

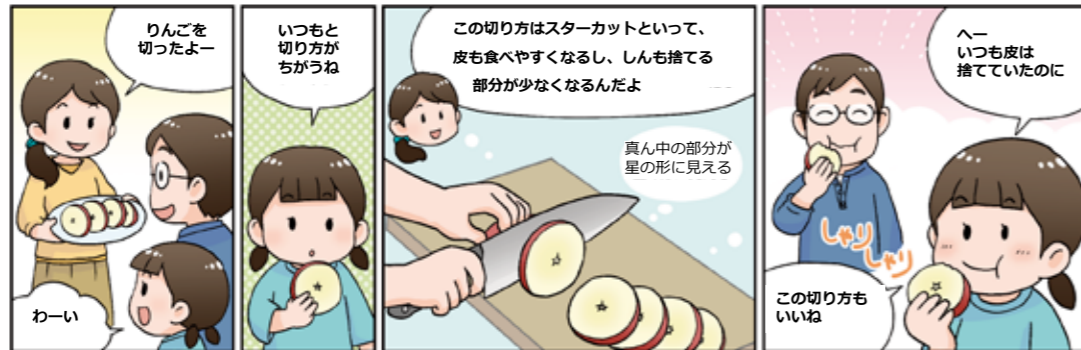


教材 P. 1

1時間限用教材-P.1



ひとくふうでむだにしないように 食べずに捨てられているものを見直そう



まだ食べられるのに捨てられている食べ物を**食品ロス**というよ。食品ロスは、日本で年間約464万トンも発生しているよ。(農林水産省及び環境省「令和5年度食品ロス量推計」)



The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

教材 P. 2

1時間限用教材-P.2

家庭での食品ロスの発生は？



食べられるところまで切り取った野菜の皮や葉、肉のあぶら身など



食べ残した料理など



消費期限切れなど、手をつけずにそのまま捨てたものなど



しんは、かたいし、味がなから捨ててしまうことが多いよ。



冷蔵庫に入れたまま、食べるのを忘れた食べ物もあったな。



教材 P. 4

1時間限用教材-P.4

食品ロスを減らすアイデアを考えてみよう

- 1 捨てている理由を考える
- 2 食品ロスを減らすアイデアを考える
- 3 考えたアイデアを発表する
- 4 意見を聞き、よりよくなる



どのようなアイデアが考えられるかな？

残さず食べることが大切だね。



食品ロスを減らすアイデア

教材 P. 3

1時間限用教材-P.3

食品ロスを減らす方法を調べよう

むだなく食べる方法



【使い切り】野菜のうまみを活かしたピラフ
(キャベツのしんやにんじんの皮を使ったピラフ)
出典:「消費者庁のキッチン」(消費者庁)
<https://cookpod.com/jp/users/40094209>

- ・野菜の皮など、よく洗えば食べられる部分は捨てずに、料理に使う。
- ・残ってしまった料理は、別の料理にアレンジする。
- ・食べられる分だけ作ったり、買ったりする。
- ・週に一度、冷蔵庫の中身をチェックする。



皮つきのじゃがいもで作ったフライドポテトっておいしいよね。

食べる以外にできる方法



- ・余っている食品をフードドライブ活動に提供する。
- ・肥料にする。
- ・野菜の食べられない部分は野菜染めなど、アートに使う。
- ・電気を作ることに利用する。



いろいろな方法があるね。どのように利用するのが調べてみよう。

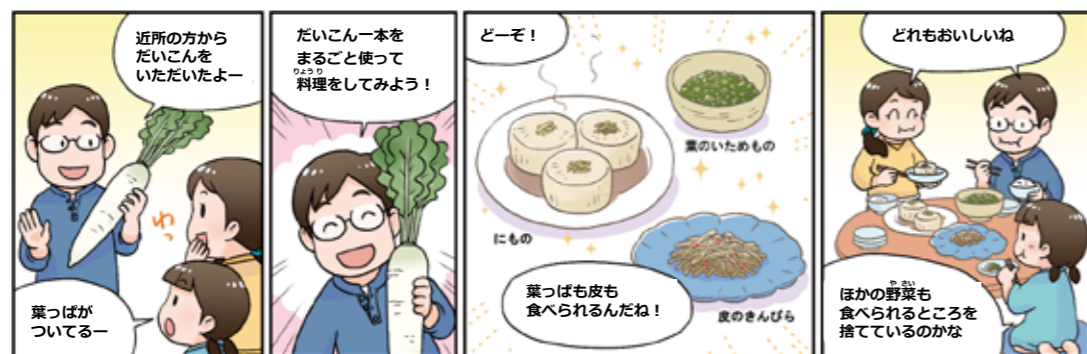
🕒 2時限+調理実習用

📖 教材 P. 1

2時限+調理実習用教材-P.1



ひとくふうでおだにしないように 食べずに捨てられているものを見直そう



まだ食べられるのに捨てられている食べ物を**食品ロス**というよ。食品ロスは、日本で年間約464万トンも発生しているよ。(農林水産省及び環境省「令和5年度食品ロス量推計」)



The content of this publication has not been approved by the United Nations or its officials or Member States. 国連のSDGs公式サイト: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

📖 教材 P. 2

2時限+調理実習用教材-P.2

家庭での食品ロスの発生は？



食べられるところまで切り取った野菜の皮や葉、肉のあぶら身など



食べ残した料理など



消費期限切れなど、手をつけずにそのまま捨てたものなど



冷蔵庫に入れたまま、食べるのを忘れた食べ物もあったな。

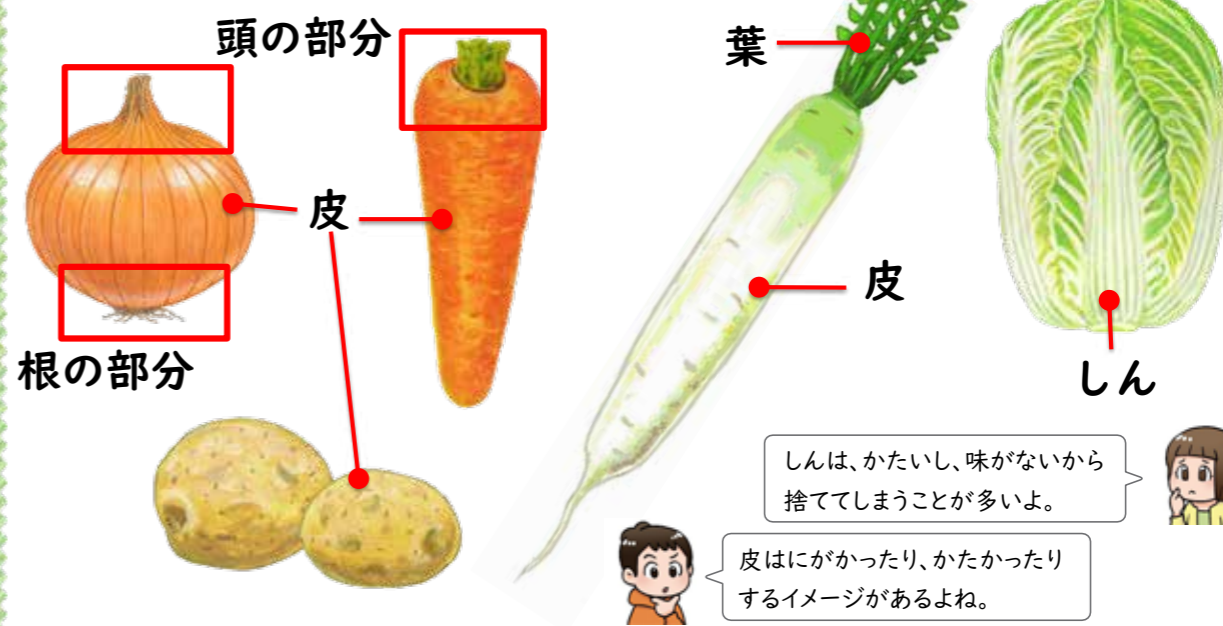
おなかがいっぱいで、食べきれなかったことがあるよ。



📖 教材 P. 3

2時限+調理実習用教材-P.3

どの部分が捨てられているかな？



📖 教材 P. 4

2時限+調理実習用教材-P.4

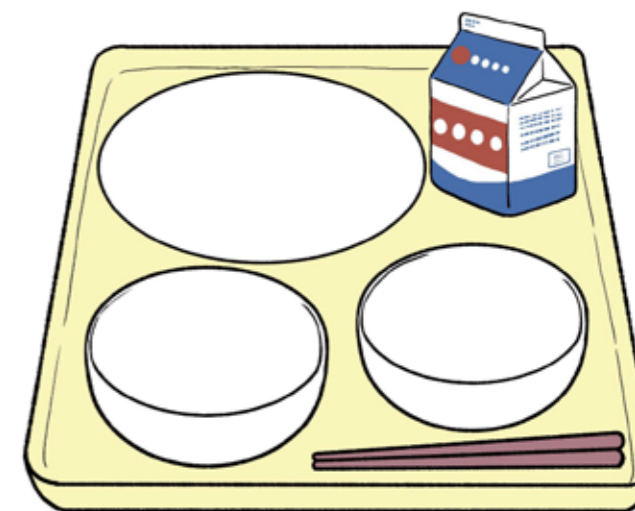
食品ロスをなくす給食レシピを考えてみよう

- 1 捨てている理由を考える
- 2 おいしく食べるくふうを考える
- 3 考えたレシピを発表する
- 4 意見を聞き、よりよくなる



どのようなレシピが考えられるかな？

残さず食べることが大切だね。





1 時限、2 時限 + 調理実習 共通



補足資料①

食品ロスの今

日本の食品ロス
年間約**464万トン**

そのうち
家庭での食品ロス
約**233万トン**

国民一人当たりの食品ロス量
1日 約102g
年間 約37kg



総務省人口推計(2023年10月1日)

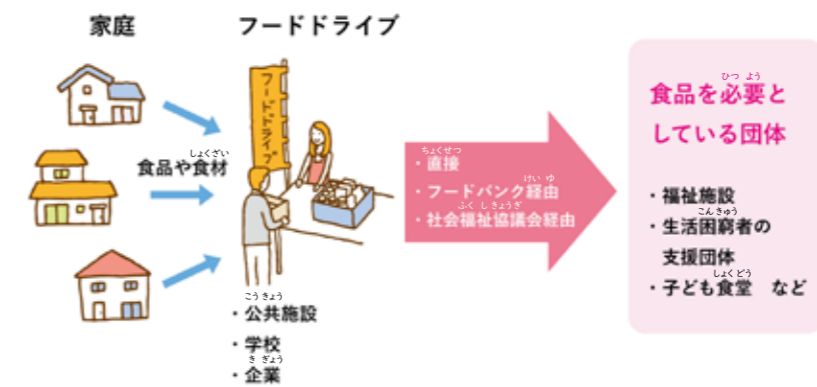
出典:「食品ロスを減らそう!今日からできる家庭での取組」(政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/article/201303/entry-7526.html>) 補足資料①



補足資料③

フードドライブ

家庭で余っている食品を自治体やスーパー、イベントなどで集めて、地域の支援団体や施設などに寄付する活動です。



「余った食品を寄付、取り組み広がるフードドライブ」(環境省 <https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/action/20240124.html>) を加工して作成 補足資料③



補足資料②

食料問題



世界の11人に1人が
栄養不足

世界人口の増加予測

2024年 82億人 → 2050年 97億人

今後、さらに食料問題が深刻になる可能性がある

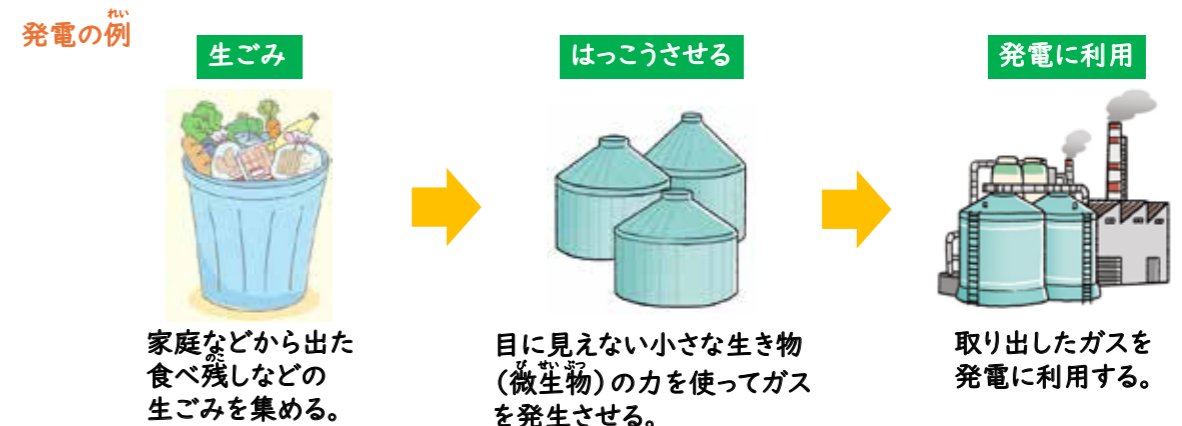
出典:国際連合食糧センター 2024年7月11日プレスリリース https://www.unic.or.jp/news_press/info/50542/
WHO 2024年7月24日共同ニュースリリース <https://www.who.int/news/item/24-07-2024-hunger-numbers-stubbornly-high-for-three-consecutive-years-as-global-crises-deepen-un-report> 補足資料②



補足資料④

生ごみを発電に利用

家庭や店、食品工場などから出た生ごみを集めて、施設ではっこうさせ、そのときに出たガスを発電に利用しています。



「廃棄物系バイオマスの種類と利用用途」(環境省 <https://www.env.go.jp/recycle/waste/biomass/biomass.html>) を参考に作成 補足資料④

🕒 1 時限用

ひとくふうでむだにしないように 食べずに捨てられているものを見直そう

想定対象
5～6年

1 時限

■ねらい：いつも捨てている野菜の部分を見直し、食品ロスを減らすためにできることを考え、実行できるようにする。

■関連する教科：国語、社会、家庭、総合的な学習 など

■準備：ワークシート、タブレット、野菜数種類 など

◆評価の観点：

(知技) 食品ロスが社会的な問題であること、ロスの解消に向けた取り組みを理解できたか。

(思判表) 食品ロスに対して、自分にできることは何かを考えることができたか。

(主) 食品ロスの問題をきっかけに、自分の食生活を見直そうとすることができたか。

■指導計画 (45分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>気づく 教材 P.1</p> <p>●導入のまんがを読み、ほぼ無意識的に捨てている食材の部分があることに気づく。</p> <p>・食べられるのに捨てている食品は「食品ロス」という。</p>	<p>・食べ残しを含め、日々多くの食べ物が捨てられていることに目を向けさせる。</p>
展開 30分	<p>●どのようなときに食品ロスが発生しているかを確認する。</p> <p>・補足資料①の食品ロスのデータを見て、家庭から出る食品ロスの多さに気づく。</p> <p>考える</p> <p>●教材 P.2 家庭ではどのような場面で、食品ロスが起きているかを書き出す。あわせて、捨てている理由も書く。</p> <p>例) 食べ残した料理…たくさん作りすぎた。／もらったおかし…消費期限が切れていた など。(→ワークシート①)</p> <p>●教材 P.3 食品ロスを減らすためのアイデアを考えるにあたり、「食べる方法」と「食べる以外にできる方法」に分けて例を示し、食品ロスに対してどのような取り組みが行われているか、具体的に調べ、書き出す。(→ワークシート②)</p> <p><むだなく食べる方法></p> <p>・捨てている部分の調理例をタブレットなどで調べる。</p> <p><食べる以外にできる方法></p> <p>・団体や企業などが行っている取り組みから、自分が主体的に取り入れられる行動を考える。</p> <p>●教材 P.4 さまざまな取り組みを参考に、自分にできる「食品ロスを減らすアイデア」を考える。(→ワークシート③)</p> <p>実行する</p> <p>●食品ロスを減らすために、自分ができそうな取り組みを考えてまとめ、発表する。</p> <p>・ほかの人の発表を聞き、取り入れたい内容をワークシートに記入する。(→ワークシート④)</p>	<p>・食べ残しや消費期限切れの食品に加え、厚くむいた野菜の皮や、芯などを捨てても、食品ロスにあたることを説明する。</p> <p>・あらかじめ用意した実物の野菜を見せてもよい。</p> <p>・フードドライブとは、余った食べ物を寄付する運動のこと。(→補足資料③)</p> <p>・捨てられた食品(生ごみ)を資源として利用するしくみを紹介する。一例としてバイオマス発電があり、再生可能エネルギーの一つである。(→補足資料④)</p>
振り返り 10分	<p>●世界の食料難について触れ、授業を振り返る。(→補足資料②)</p> <p>・振り返り、これから自分ができることを書く。(→ワークシート⑤)</p>	<p>・食べるものがない貧困の子どもがいることを紹介し、捨てることはもったいないこと、残さず食べることが大事、のようにまとめられるとよい。</p>

🕒 1 時限、2 時限+調理実習 共通

■参考動画 (NHK for School)

【こうする！食品ロスをなくそう～千葉県野田市立関宿小学校6年～】(約10分)

給食の食べ残しが1日にどれだけ出ているのかを知った6年生たちが食品ロスの解消に向けて、実際に行った取り組みを紹介している。学校栄養士と協力して、野菜の芯や皮を使うレシピを考えて実際に調理するシーンがあるので授業の参考となるだろう。

また、シールやチラシを作って、地域のスーパーマーケットで買い物客に食品ロスの問題を知ってもらい、食べ物への意識を変えてもらう取り組みの様子も紹介している。食品の廃棄を減らすことだけに着目するのではなく、食品ロスの問題を広く知ってもらい、購入者の意識を変えることの重要性に気づくことができる。

https://edu.web.nhk/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180376_00000



【まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」】(約2分20秒)

日本で最も食品ロスを出しているのは家庭であり、冷蔵庫に入れっぱなしで忘れていた、料理のときに食べられるところまで捨てているといった食べ残しが大きな原因であることを紹介している。毎日の何気ない行動が、実は食品ロス問題につながっていることが分かり、食品ロス問題をより身近に感じることができる。

https://edu.web.nhk/school/watch/clip/?das_id=D0005320588_00000



■食品ロス概要/データなど

「食品ロス」は、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいう。世界では年間約13億トンもの食料が廃棄されており、これは食料生産量の約3分の1に相当する。その一方で、世界では7億人以上が飢餓に苦しんでいる。

日本では年間464万トン発生しており(2023年度)、国民一人あたり、毎日おにぎり1個分の食べ物を捨てている計算になる。そのうち約半分の233万トンが家庭から排出されている。政府は、2030年度までに食品ロスを2000年度から半減させる目標を掲げ、消費者への啓発活動や事業者への支援・情報提供などを行っている。また、10月が3R推進月間、10月16日が「世界食料デー」であることなどから、10月を「食品ロス削減月間」、10月30日を「食品ロス削減の日」と定めている。

2022年度、事業系の食品ロスについては目標を8年前倒しで達成したため、新たに2030年度までに60%削減(2000年度比)の目標が設定された。一方、家庭系食品ロスについては、まだ当初目標に達していない。

【消費者庁 令和7年度版「食品ロス削減ガイドブック」】

消費者向けに毎年発表している。内容を「情報編」「実践編」に分け、食品ロスの現状、消費者ができる実践方法を紹介している。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/pamphlet/assets/consumer_education_cms201_20251205_0001.pdf



【消費者庁 令和6年3月版「消費者庁×うんこドリル 食品ロス」】

人気キャラクターが食品ロスの問題をイラストで解説している。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/pamphlet/assets/foodloss_240326_01.pdf



【消費者庁 令和6年3月版「計ってみよう！ 家庭での食品ロス」】

付属するチェックシートに、1週間の間に捨てた食品、その理由を記録することで「作りすぎタイプ」など自分のタイプを診断できる。タイプに合った解決方法を紹介することで、食品ロス削減を促す。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/pamphlet/assets/consumer_education_cms201_20241021_0002.pdf



■食品ロス再生利用/データなど

【環境省「食品廃棄物から再生可能エネルギーを創出！

地域循環型社会を目指すバイオフードリサイクルの取組み。」】

食品ロスを始めとする食品廃棄物を有効活用するため、食品廃棄物から再生可能エネルギーを創出する取組みが始まっている。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/re-start/interview/46/>



2 時限 + 調理実習用

2 時限 + 調理実習用

■ レシピを考案する場合の指導案

2時限+調理実習用の教材を使用し、食品ロスの解決手段の一つとしてレシピを考案する。調理実習の時間を利用し、実際に考えたレシピで調理し学習効果を高めてもよい。

◆ 評価の観点：

(知技) 食材の食べられる部分や無駄なく使い切る調理方法を理解して、適切に活用できたか。
(思判表) 捨てていた部分をおいしく食べるための工夫を考え、レシピとして分かりやすく表現できたか。

(主) 食品ロスを自分の問題と捉え、意欲的にレシピを改善・実行することができたか。

2 時限 +
調理実習

■ 指導計画 (90～180分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点
1 時限 導入 5 分	<p>気づく 教材 P.1</p> <p>●導入のまんがを読み、ほぼ無意識的に捨てている野菜の部分があることに気づく。 ・食べられるのに捨てている食品は「食品ロス」という。</p>	<p>・皮は捨てるものという先入観を持っていることに気づかせられるとよい。</p>
展開 40 分	<p>教材 P.2</p> <p>●どのようなときに食品ロスが発生しているかを確認する。 ・補足資料①の食品ロスの割合のデータを見て、家庭から出る食品ロスの多さに気づく。</p> <p>考える 教材 P.3</p> <p>●野菜を見ながら、野菜のどの部分が捨てられているかを書き出す。あわせて、捨てている理由も書く。 例) 皮…かたい。土で汚れている。にがい。芯…かたい。味が無い。根の部分…土で黒くなっている。など (→ワークシート①)</p> <p>●捨てられている部分のうち、食べられそうな部分を見つけ、調理例をタブレットなどで調べる。 ・細かく刻んでスープに入れる。味つけをしっかりする。漬物にする。など (→ワークシート②)</p> <p>●調べた内容を参考に、どのような工夫をしたらおいしく食べられそうか、グループで意見を出し合いレシピを作る。 (→ワークシート③)</p>	<p>・食べ残しや消費期限切れの食品だけでなく、厚くむいた野菜の皮や、芯なども食品ロスにあたることを説明する。</p> <p>・あらかじめ用意した実物の野菜を見せる。</p>
2 時限 展開 25 分	<p>実行する</p> <p>●グループでまとめたアイデアを栄養教諭に聞いてもらい、実現できそうか意見をもらう。 ・栄養教諭のアドバイスや、ほかのグループの発表で取り入れたい部分をメモする。 (→ワークシート④)</p>	<p>・あらかじめ、栄養教諭に授業協力を依頼しておき、アドバイスをもらう。</p>
振り 返り 20 分	<p>●レシピを修正して、給食の場面を想定して絵で表現し、発表する。 ●自分の意見とあわせ、学習を振り返る。 (→ワークシート⑤) ・補足資料②を使って、世界の食料難について触れる。</p>	<p>・絵を描くときは、教材 P.4 を印刷して使ってもよい。 ・食べるものがない貧困の子がいることを紹介し、捨てることはもったいないこと、残さず食べることが大事、のようにまとめられるとよい。</p>

調理実習を行う場合は、引き続き3・4時限に調理実習を行う

3・4 時限 導入 5 分	●使用する野菜の部分や、作り方を確認させ、調理実習の見通しを持たせる。	
展開 70 分	●実習を行う。 ●試食する。	・実習中は各テーブルを回って安全を確認する。 ・全員が試食を始めたら、振り返りを行う。
振り 返り 15 分	●家で作るときの注意点などを振り返る。	

■ 「食品ロス削減レシピ」の参考

【環境省 もっと先の未来を考えるエコ・マガジン「エコジン」食品ロス】

ブロッコリーの茎や余った焼肉のたれなど、身近にある材料でできるレシピを動画付きで紹介している。

<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/category/c4.html>



【仙台市 モッタイナイキッチン】

野菜をまるごと使った料理を写真付きで紹介している。

<https://www.gomi100.com/cat/mottainai-kitchen>



【公的機関のクックパッド「消費者庁のキッチン」】

野菜だけでなく、余ったカレーやそうめんなどを使ってドリアやクッキーなど全く違う料理にするレシピを紹介している。

<https://cookpad.com/jp/users/40094209>



1 時限用

食べずに捨てられているものを見直そう

年 組 番 名前

ワークシート① 家庭で食品ロスが発生している場面を考えてみよう。

捨てているもの	捨てている理由
例) ・野菜の皮やしん	よごれているから。かたいから。

ワークシート② 食品ロスに対してどのような取り組みが行われているか、調べて書こう。

<むだなく食べる方法>
<食べる以外にできる方法>

1 時限用

年 組 番 名前

ワークシート③ さまざまな取り組みを参考に、食品ロスを減らすアイデアを考えよう。

ワークシート④ 友だちの発表で取り入れたい内容をメモしよう。

ワークシート⑤ 学習をふり返り、これから自分ができることを考えて書こう。

2 時限 + 調理実習用

食べずに捨てられているものを見直そう

年 組 番 名前

ワークシート① 家庭で食品ロスが発生している場面を考えてみよう。

捨てているもの	捨てている理由
例) ・野菜の皮やしん	よごれているから。かたいから。

ワークシート② 捨てられている部分のうち、どのように調理すれば食べられるか調べて書こう。

2 時限 + 調理実習用

年 組 番 名前

ワークシート③ 調べた内容を参考に、食品ロスを減らすレシピを考えよう。

ワークシート④ 先生からのアドバイスや友だちの発表を聞いて取り入れたい部分を書こう。

ワークシート⑤ 学習をふり返ろう。

◆栃木県立小山西高等学校 JRC 部

SDGs カルタ

SDGs への関心と気づき

小山西高校のJRC部員は、青少年赤十字の研修がきっかけでSDGsに関心を持ちました。調べてみると、紛争や気候変動などにより、自分たちが当たり前だと思っていた生活が当たり前ではない人々が、世界にいることを知りました。

SDGsが目指していることは赤十字の目標である「人道の実現」と同じであると気づき、SDGsを広めていくためには、これからの未来を生きる子どもたちにSDGsに興味を持ってもらうことが大切だと考えました。

オリジナルカルタの制作

そこで、ゲームなら楽しみながら勉強できるし、興味を持ってもらえると思い、オリジナルのカルタを制作しました。カルタは縁の色でSDGsの何番に関連するかがわかり、裏面には目標の番号と説明があります。わかりやすい絵や文章を心掛けて作りましたが、実際に子どもたちがカルタ取りをすると、札を取ることに夢中でSDGsの理解が深まらないことに気がつきました。

カルタのアップデート

カルタを作るだけでなく、札を1枚取るごとに該当するSDGsのゴールに関する4択クイズを出すことにしたり、ゲームの最後は、これから自分がやっていく行動を考えるために、ボードに優先順位のカラーシールを貼ってもらったりするなど、気づいたところを改善しながら、「たくさん子どもたちがSDGsを知って行動を変えていく」という目的を達成するために、アップデートを重ねています。



※JRCは、青少年赤十字 (Junior Red Cross) の略称です。

◆福島県立白河実業高等学校 JRC 委員会

身近なことから地域社会や世界に貢献

「Think Globally Act Locally」白河実業高校のSDGs

白河実業高校は、スクールミッションのひとつに「SDGsを踏まえた学科間連携による課題解決学習」を掲げ、生徒会とJRC委員会を中心に様々な活動を行っています。

「Think Globally Act Locally」の視点から、生徒たちが校内でできることを探し、様々な活動につなげています。たとえば、昼休みに全教室の電気を消す「CO2CO2 (こつこつ)削減プロジェクト」は、不要な電力を使わない必要性を考えて生まれました。発案から4年がたち、全生徒で取り組みを続けてきた結果、昼休みだけでなく移動教室などでも自主的に電気を消す習慣が校内に根付きました。

フードロス削減の視点では購買のパンが売れ残ってしまっていることへの気づきから、売れ残りのパンの購入を勧める校内放送の取り組みにつながりました。



地域社会への貢献とボランティア活動

このような校内の身近な取り組みだけでなく住み続けられる街づくりを目指して、校外のごみ拾い活動や薬物乱用防止キャンペーンへの参加、校内献血の実施など、地域社会のためにできるボランティア活動を続けています。また、全校生にJRC委員会の活動を知ってもらい、SDGsや地球規模の課題を一緒に考えてもらえるよう、フェアトレードのコーヒーを生徒たち自身が提供する「ワールドブックカフェ」を開催しています。売上金は、義援金や海外救援金としています。



◆富山県南砺市立福光中学校

みっちゅう

光中 四本柱の一つ「ボランティア」の活性化に向けた活動の実践

1. 環境ボランティア委員会年間目標

「一人一人が意識的に行動し、ボランティア精神を高めよう」

2. 活動計画

活動時期	活動内容
7月	MTGs 週間
10月	制服回収ボランティア
11月	校内外全校ボランティア活動

※各企画の前後に、活動の計画や反省のための話し合いを実施。

3. 実践

①MTGs 週間(7月)

生徒のSDGsに対する意識を高めるため、学校生活とSDGsとの関わりを考え、4つの行動目標を策定。光中版のSDGs(=MTGs)を意識して生活する活動を実施しました。期間中の帰りの会で、上記の項目が達成できたか振り返りを行いました。

 ①給食を残さずに食べることができたか。	 ②水を無駄遣いしないようにできたか。
 ③自分や周りのものを大切に扱うことができたか。	 ④相手を尊重する言動がとれたか。 例) ・人の手助けをする。 ・人の悪口を言わない。

②制服回収ボランティア(10月)

各家庭の役目を終えた制服や体操服の回収を学習発表会の日に行いました。小学校時代の制服や、サイズが小さくなって着られなくなった体操服等、計27着が集まりました。回収はNPO法人「なんと元気」に協力いただき、希望する家庭に配付される予定です。



③校内外全校ボランティア(11月)

学級ごとに学校内の花壇を整理したり、通学路の落ち葉やごみを拾ったりして、普段お世話になっている場所をきれいにしました。生徒たちは、台車を何回も往復するほどたくさんの落ち葉を拾ったり、花壇を鍬で丁寧に耕したりするなど、活動しました。



4. 実践の結果・課題

①と②の活動は、普段の学校生活を振り返り、生徒のボランティア精神が高まるよう生徒自身から立案されたものです。生徒の創意工夫を尊重した企画を行ったことで、主体的に活動する生徒が多くいました。一方で、MTGs 週間では行動目標のハードルが低く、生徒の達成度の割に行動の変容があまり見られなかったという課題も残りました。③の活動は、内容や清掃範囲を少しずつ変えながら毎年行っているもので、活動中に地域の方から励ましやお礼の言葉をいただくなど、地域に根ざした活動となっており、学校の伝統として継続していく予定です。

今後も生徒たちのボランティア精神が高まるよう、生徒のアイデアを生かした活動と恒例で行っている活動を両立させていきます。

巻末資料

赤十字について、もっと知りたい方のために



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

▶赤十字について

<https://www.jrc.or.jp/about/>

赤十字は、アンリー・デュナン（スイス人：第一回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一社であり、西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。



青少年赤十字について、もっと知りたい方のために



▶青少年赤十字

<https://www.jrc.or.jp/volunteer-and-youth/youth/>

児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。



▶資料で見る青少年赤十字

<https://www.jrc.or.jp/volunteer-and-youth/youth/document/>



本冊子に掲載の教材・補足資料・指導案・ワークシートは、
日本赤十字社のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jrc.or.jp/volunteer-and-youth/youth/document/#sdgs>



■企画・制作

日本赤十字社

■青少年赤十字 SDGs 教材検討委員会

厚東 政人 山口県青少年赤十字賛助奉仕団 副委員長

土山 泰弘 和歌山市立名草小学校 教諭

榮 翔一郎 福岡市立高木小学校 教諭

石田 ちづる 胎内市立中条中学校 教諭

米田 謙三 早稲田大阪高等学校 教諭

■監修

杉浦 正吾 東京都市大学 教授

※組織名称・肩書は初版時のものです。

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.
国連のSDGs公式サイト <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>



本教材は、三井グループ350周年記念事業の支援を受けて作製しました。

青少年赤十字 SDGs 教材（小学生版）

未来への種まき
SDGs から気づき・考え・実行する

令和8年3月30日 初版発行

発行元 日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

住所 〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/>